

第24章 北東部の概況

I. 北東部地域の概要と経済動向

I-1. 北東部地域の概要

図表 24-1 北東部地域に属する州

地域名	属する州名
北東部	マラニョン州、ピアウイ州、セアラ州、リオ・グランデ・ド・ノルチ州、パライバ州、ペルナンブーコ州、アラゴアス州、セルジッペ州、バイーア州

ブラジル全土の18%の面積を占める北東部は、南米大陸が東に向かって大西洋に膨らむエリアに当たり、比較的面積の小さな州も含め9州で構成されている。ヨーロッパ人によるブラジルの開発が始まったのは主に現在の北東部からであり、1763年まで首都がおかれたサルバドルもこの地域にある。また、歴史的な経緯から黒色人種が多く居住し、独特の文化を築いてきたこともこの地域の特徴である。

北東部の時間帯はUTC-3であり、日本と比べて12時間遅れである。夏時間は採用していない。

I-2. 経済動向

ヨーロッパ人による開発・入植の歴史が古いとはいえ、現在は経済発展には立ち遅れ気味である。一人当たり域内総生産で比較すると、北東部の各州は軒並み低い順位に甘んじている。

ルーラ政権以来の所得格差縮小政策の流れを受けて、北東部の経済振興が図られてきている。ルセフ新大統領の就任演説においても、北東部は経済振興を持続すべき地域として位置づけられており、今後も連邦政府による政策的な産業振興や所得分配に配慮がなされるであろう。

I-3. 事業環境

北東部は5つの地域区分のうち、南東部に次いで人口が多い。ブラジル全人口の3割弱にあたる5,300万人余りが同地域に居住しており、市場として一定の規模があるといえる。ブラジルを代表する大都市のいくつかもこの地域に存在する。

その一方、上述のとおり産業の集積は遅れている。教育水準も他地域に比べると低く、今後の事業環境の向上・整備に期待が寄せられるところだ。